

社会労働研究 10巻 : 学会消息

雑誌名	社会労働研究
巻	10
ページ	169
発行年	1958-12-25
URL	http://hdl.handle.net/10114/00017488

学会消息

○第十号をおてもとにおとだけできることを編集員一同大変うれしく思っております。

○学会誌もこれで十号をかぞえることになりました。本号ではそれを記念する意味で、中島会長に「社会学部学会創立五年有余」を書いていただくとともに、一号から十号までの学会誌の総目次を収録いたしました。

○前号と同じく、本号にも卒業生会員松島春海氏の論文を長谷川教授の推薦によって掲載いたしました。

○次号は是非とも三月に発行いたしたいと思っております。会員諸氏の御協力をお願いいたします。

○前号刊行以後、次のように定例研究会がおこなわれ、活発な討論が行なわれました。今後も会員諸氏多数の御出席をのぞんで居ります。

△法政大学社会学部学会定例研究会▽

第二十六回 五八年十一月三十日

「第一次大戦後における労働組合の総連

合運動」

教授 村山重忠

「戦前における労働争議と警察権」

助教授 秋田成就

○十一月三十日の定例研究会終了後、学会評議員会が開催され、活動報告、会計報告がなされたのち学会の運営について討議され、新たに運営委員会を設置することが決定されました。

○卒業生会員の方が会費を送られるときは法政大学社会学部研究室宛に書留でお送り下さい。

社会労働研究

第十号

一九五八年十二月二十五日 発行

東京都千代田区富士見町三ノ一
法政大学社会学部研究室

編集者 逸見重雄
発行者

印刷者 日之出印刷株式会社
東京都豊島区日出町一ノ二二九

発行所 東京都千代田区富士見町三ノ一
法政大学社会学部学会